



ハチ刺されに注意！！

7～9月はハチが活発になる時期です。ハチ刺されに注意しましょう。



もしハチに刺されてしまったら・・・？

1. まず刺されたところに針が残っていないか確認する。針が残っていたら毛抜きやピンセットで抜き取るか、人差し指や爪ではじくようにして取り除く。
2. 傷口をつまむ、吸引器を使うなどの方法で毒を出す。
3. 流水で毒を洗い流し、患部を冷やす。(冷やすことで血管が収縮し、毒の回りが遅くなり、炎症を抑えることができる)
4. 抗ヒスタミン剤やステロイド入り軟膏を塗布する。

刺された直後の強いかゆみには、かゆみを抑える成分の抗ヒスタミン薬が有効。

赤みやかゆみが強いときは、炎症を抑えるステロイド外用薬が効果的。

腫れなどの症状が強い場合は、内服薬が必要なこともあるので、早めに皮膚科を受診しましょう。



アナフィラキシーショックに注意！

ハチに刺されると激しく痛み、赤く腫れます。初めてハチに刺された人なら通常1日以内で症状は治まります。以前にハチに刺されたことがあると、アレルギー反応が強くなるため、呼吸困難やじんましん、強い腫れが生じることがあります。この反応が強いと意識消失や血圧低下といったアナフィラキシーショックを起こし、死に至ることもあります。呼吸困難、じんましん、腹痛、気分不良などの全身症状が出たら、すぐに救急車を呼びましょう。救急車がくるまでは、仰向けに寝て頭を低くして待ちましょう。



ハチに刺されないための予防法

むやみにハチの巣に近づかない

花模様、黒、黄色などハチが好む柄・色の服を避ける

芳香の強い化粧品・香水・ヘアスプレーをつけない(香りがハチを刺激することがある)

戸外での甘味物(ジュース、果実など)の飲食をしない

ハチが近づいてきても大声で騒がない(ハチがパニックになり、かえって攻撃される原因に)

近づいてきたハチを手で追い払わない(ハチは動くものを攻撃するため、騒がず静かに後退すること)

ハチ刺されに関するQ & A

刺されたら口で毒を吸い出す？ 答え No

口で毒を吸い出すと、いくら口をゆすいでも口の中に毒が残ってしまう危険性があります。また、口の中に傷があると、そこから毒が入る可能性もあるため、口では吸い出さないようにしましょう。

ハチ刺されには尿が効く？ 答え No

昔からハチに刺されたらアンモニア水や尿をかけるとよいといわれていますが、効果は全くありません。流水で毒を洗い流しましょう。